

## ① 経営体の概要

- 所在地: 佐賀県佐賀市久保田町
- 経営体名: 久保田地区無人ヘリ利用組合 (H12年組織) ドローン防除対象
- 農地面積: 水稻44ha、大豆24ha
- オペレーター: 11名



無人ヘリ利用組合員

## ② 導入技術・システム (商品名・サービス名と企業名)

- 農薬散布用ドローン (DJI社製 MG-1SA)  
(平成30年度から活用)

## ③ 導入の経緯

- 近年、久保田地区は市街化が進み、住宅に近いほ場や交通量の多い道路に面する圃場など無人ヘリでは防除が困難な場所が増えてきたことから、JAのモニター販売により農薬散布用ドローンを導入し、無人ヘリ防除との連携により効率的に防除作業を実施。



オペレーターによる防除作業

## ④ 導入に当たり活用した事例があればその事業名 (国、県)

- なし

## ⑤ 導入してどうだったか (その1 導入前との比較、効果)

- 小回りが利き、住宅に近いほ場などでも散布が容易となった。
- 軽量で積みおろしも手間がかからず、無人ヘリより1人少ない人数 (3名) で作業が可能。家屋への衝突等の事故の影響も小さくなることから、作業員の精神的負担が軽くなった。
- 機体の高度をオペレーター目線まで下げることができ、散布状況を確認できる。
- 騒音、ドリフト、洗濯物への影響などがヘリと比べて小さく、住民から苦情が減ってきた。

## ⑥ 導入してどうだったか (その2 改善してほしい点、課題)

- バッテリーは10分程度の飛行しかもたず、その都度交換が必要である (充電に45分必要)。
- 組合員も高齢化しており、若手オペレーターの育成・確保が課題。
- 水稻の場合、1日10haの防除が限度で、面積を拡大しようとする、その分、台数と人員が必要となり、拡大は難しい。



ドローンによる飛行の様子